

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成31年4月分)

令和元年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済指標

(2) 経済政策・公共事業

(3) 民間セクター

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりとまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●SDAとDFが連立交渉に向け覚書締結(5日)

SDAとDFは、BH国政及びBH連邦の連立政権交渉に関する両党の覚書を締結。同覚書には、連立交渉相手のHDZ及びSNSDが難色を示すセイディッチ・フィンチ判決及びNATO加盟行動計画の履行が含まれていることから、今後の連立交渉ではSDA及びDFと、HDZ及びSNSDの関係悪化が懸念されている。

●新BH閣僚評議会の閣僚ポスト配分に関する合意(17日)

SDA、HDZ、SNSDの3党党首は新BH閣僚評議会の閣僚ポスト配分をめぐる協議を実施。その結果各党は、セルビア系に議長の他

対外貿易・経済関係相、運輸・通信相、人権・難民相、ボシュニャク系に外相、国防相、治安相、クロアチア系に財務・金融相、法相、内相の各3閣僚ポストを配分することで合意した。なお、各党間ではNATO加盟行動計画をめぐる意見の不一致が埋まっておらず、新BH閣僚評議会の発足は合意されなかった。

●BH閣僚評議会が東部国境の警備強化を要求(4日)

BH閣僚評議会は、BH治安省からの情報に基づき、BHへ流入する移民・難民問題について協議を実施。同問題に関して閣僚評議会は、セルビアと接するBH東部国境の警備強化を目的として、今後BH軍に新部隊の創設を、BH内務省に対して要員拡充を要請する方針を決定した。

●クロアチア情報機関の活動をめぐりクロアチア政府に対し抗議書簡(2日)

BH大統領評議会は、「BHはテロの巣窟である」とのグラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領の主張を証明するために、クロアチア情報機関がBH中部ゼニツァ・ドボイ・カントンへ武器運搬の秘密活動を行っていたとされる報道に関して、BH外務省に対してクロアチア政府への抗議書簡の送付を命じた。

(2)エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦議会上院、トゥズラ火力発電所7号炉建設に中国からの資金借り入れを可決(1日)

BH連邦議会上院は、トゥズラ火力発電所7号炉の建設を目的とする、BH電力公社による中国輸出入銀行からの資金借り入れを承認。これによりBH電力公社は、中国輸出入銀行から6.14億ユーロの融資を受けることが可能となった。同決定に関しては、欧州エネルギー共同体が、融資額に対してBH連邦政府が示した100%の政府補償は、最大80%までをルールとするEU規則に抵触するとして、BH連邦議会上院に対して決定の延期を要請していた。

●RS警察・内務法修正案へ反発(23日)

BH連邦議会下院の治安委員会は、18日にRS警察・内務法の修正草案がRS国民議会で第一読後の採決を通過したことを受けて、関係する各国内・国際機関に対して同修正案の成立阻止を求め、仮に修正案が可決された場合には、BH連邦警察の予備隊創設を含む必要な対応を講じるとの決定を全会一致で下した。

イ. スルブスカ共和国(RS)

●RS内務省がRS警察予備隊創設の方針(1日)

ルカチュ内務相(SNSD)は、現地メディアに対し、警察・内務法改正によるRS警察への予備隊創設の方針を表明。同大臣は併せて、その目的は難民対応や自然災害等の不測の危機への対応にあり、予備隊の規模は現有警察規模の20%を目処とすると説明した。

●RSの日をめぐりBH憲法裁判決をRS各党が批判(2日)

1月9日をRSの日とする法律がBH憲法に違反するとしてBH憲法裁判所判決への対応をめぐり、ツビヤノビッチRS大統領がRS各党党首を集め協議を実施。協議後にまとめられた共同声明の中で各党は、同判決はRSの合法性及び正当性を無視し、歴史的事実を歪曲しようとするものであると批判した。

●RS警察・内務法修正案がRS国民議会における第一読を通過(18日)

RS警察予備隊の創設を含む警察・内務法の修正案は、RS国民議会で第一読後の採決を通過。市民集会への政府の弾圧を合法化する法案との野党議員の批判に対し、ドディックBH大統領評議会議長は、同法案は移民の増加やそれに紛れ込んで流入するISIS戦闘員に対応するために必要な措置であると正当化した。

2. 外政

(1)多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●法の支配確立に向け欧州委員会がBHで

新イニシアティブを開始(3日)

欧州委員会は、BHにおける法の支配の確立に向けた新たなイニシアティブを開始。同イニシアティブに基づき欧州委員会は今後、本年11月にかけて、BH国内の法制度改革の確実な履行とアカウントビリティの改善を目的とするモニタリングの実施および評価書の作成を行う。

●欧州評議会議員会議のBH資格停止(6日)

欧州評議会は、6日までに欧州評議会議員会議への新たなBH代表団の選出が完了しなかったことを受け、同会議におけるBHの参加資格を一時停止。欧州評議会規則によれば、各加盟国の議会は、選挙後6ヶ月以内に新たな代表団を選出しなければならないところ、BHの同期限は昨年10月の選挙から6ヶ月後の本年4月6日であった。

●EU加盟候補国の地位付与に関する意見書(15日)

当地紙掲載のインタビューの中で、コツィヤンチッチ欧州委員会報道官は、BHに対するEU加盟候補国地位付与に関する欧州委員会の意見書提示は本年5月中の予定と発言。また同報道官は、それを受けた加盟候補国の地位付与に関するEUの最終決定は、本年11月の新欧州委員会の発足後、早くとも来年の初頭になるとの見通しを示した。

●BHの移民対策にEUから1,300万ユーロ(29日)

欧州委員会は、BHに流入する移民・難民への対策費用として、BH政府に対し1,300万ユーロの資金援助の実施を決定。この支援計画は、移民・難民対策支援として2018年

にEUがBHに対して行った970万ユーロの支援に続く第二期支援の一環であり、同資金は今後、移民・難民の住居確保や食事提供に充てられる。

(2)二国間関係

●BH・中国首脳会談(11日)

第8回「16+1」会合(於・クロアチア)のフリンジにおいて、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は中国の李克強首相と会談を実施。ズビズディッチ議長は「一帯一路」を通じたBH・中国関係の緊密化に言及し、BHの観光、エネルギー、運輸・交通の各分野に対する中国からの投資拡大、及び、BHからの乳製品、蜂蜜、ワインなどの農産品輸出に期待を示した。これに対して李首相は、BHからの輸入拡大及び観光分野での協力拡大に意欲を示した。

3. 経済

(1)経済指標(BH統計局)

●2018年第4四半期のGDP伸び率は前年同期比3%増(BH統計庁)

2018年10~12月のBHのGDPは、前年同期比で3%のプラス成長。

●産業生産指数

3月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比0.1%のマイナス、前年同月比では4.9%のマイナス。

●雇用/失業率

2月の失業者数は43万53人。2017年の同月を基準値(100)とする前年(2018年)同月比で8.4%、実数にして4万2,904人の減少で改善傾向。

●平均給与

2019年2月の平均給与(手取り)は895KM(447.5ユーロ)で、前年同月比で5.4%のプラス。

●消費者物価指数

3月の消費者物価指数は前月比で0.1%のプラス。

●貿易収支

1～3月期の輸出額は、前年同期(2018年1～3月)比で0.6%のマイナスで27億7,100万KM(13億8,550万ユーロ)、輸入額は前年同期比で4.7%のプラスで46億1,100万KM(23億550万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は18億4,000万KM(9億2,000万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5ヶ国は以下の通り。

BHからの輸出	BHへの輸入
①ドイツ	①ドイツ
②クロアチア	②イタリア
③イタリア	③セルビア
④セルビア	④クロアチア
⑤スロベニア	⑤中国

●観光客数

3月にBHを訪れた観光客数は9万5,808人で、前月比で29.8%のプラス、前年同月比で8.5%のプラス。このうち、日本からの観光客数は491人。

●対BH外国直接投資は増加傾向(BH中央銀行)

2018年の外国からの対BH直接投資額は800万KM(約410万ユーロ)で、2017年の

777万ユーロから2.8%の増加。2017年以降の外国からの対BH直接投資の拡大傾向は、2019年も維持される見通し。

(2)経済政策・公共事業

●西バルカン地域各国が通信ローミング料金の引き下げで合意(4日)

セルビアのベオグラードで開催された西バルカン・デジタル・サミットにおいて、同地域の携帯通信ローミング料金の引き下げ合意が西バルカン地域の各国間で合意・署名された。同合意の発効により、西バルカン地域における携帯通信ローミング料金は、2021年にかけて漸次的に引き下げられる見通し。

●IMF年次総会(12～14日)

米・ワシントンで開催されたIMF年次総会に、BH中央銀行総裁を中心とするBH代表団が出席。総会に合わせて実施されたIMF側との会合では、BHとIMFとの協力関係、及び、現在凍結中のIMFの対BHプログラムについて協議を実施。同プログラムに関してIMFは、BH側が条件を満たせば協議を継続するとの方針を示した。

●第10回サラエボ・ビジネス・フォーラムの開催(17～19日)

ボスナ国際銀行及びイスラム開発銀行の共催により、第10回サラエボ・ビジネス・フォーラムが開催。同フォーラムには、ドディックBH大統領評議会議長、パホル・スロベニア大統領、オクタイ・トルコ副大統領、ムジャヒド・マレーシア首相府相らが出席し、中東及び西バルカン地域を中心に世界50ヶ国から2,000人以上が参加。BHへの投資呼び込み、及び、新規起業などをテーマに、パネル・セッション、

投資家会合、約300のプロジェクト・プレゼンテーションなどが行われた。

●モスタル・フェアの開催(9～13日)

第22回国際物産品展(モスタル・フェア)がBH南部のモスタルで開催。本年は中国がパートナー国となり、世界30ヶ国以上から企業が出展し、ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)及びブチッチ・セルビア大統領が出席。なお、例年出席しているクロアチア的首脳は今回は出席せず、ズビズディッチBH閣僚評議会議長(ボシュニャク系)も出席しなかった。

(3)民間セクター

●伊・衣料品メーカーのカルツェドニアがBHに新工場を建設(13日)

イタリア衣料品メーカーのカルツェドニアは、本年7月、BH北部のグラディシュカ市で総工費150万ユーロの新工場の建設を完了する予定。同市のアジッチ市長によれば、新工場の稼働により、500人の新規雇用が生まれる見通し。